

慶應義塾維持会

News Letter

2015年9月
No.8





■ 岡山県出身 薬学部3年

人生には限りがあるけれど、限りなく多くの人命を救いたい

視野を広げ、義塾の薬学部で興味を持った学問を活用し、薬学の面から社会に貢献する道を突き進む。



今、一番興味を持って取り組んでいるのは薬物動態学です。聞き慣れない言葉かもしれませんが、これは薬物が体内にどのように届いていくかを研究する学問です。私はもともと、数学や物理などの理数系科目が得意で、計算式を解いていくことが好きでした。慶應義塾の薬学部に入って、物理や数学に近い授業があったので「これは楽しそうだな」と思って始めたのですが、やっぱりすごく面白くてどんどん惹かれていきました。

薬学部は6年制であと3年間ありますから、進路はまだ決めかねています。今のところ3つの進路を考えています。薬剤師になって直接患者さんと会い、社会に貢献するという道がまずひとつ。それから、これは薬学部の学生の多くが考える進路

ですが、製薬会社に就職し、薬の研究・開発をすることです。特にまだ研究開発が進んでいない難病に対する新薬を作りたいですね。3つめは、厚生労働省に進むこと。薬そのものではなく、薬品のルール(規律)を作っていく道です。患者さんに、「制度」を整えることで貢献したいと思っています。

いずれにしても、患者さんを助けたい。限られた人生なので、僕が生きている間にどれほど多くの患者さんを救うことができるか、これに尽きると思っています。

慶應義塾大学に入学したからには、薬学部内にとどまらず、あらゆる方面に秀でた他学部の仲間と体験をともにし、自分自身の視野を広げ、お互いに成長していきたいと考えています。



■ 愛知県出身 商学部4年

日本企業の大部分を占める中小企業の活性化に貢献したい

資本政策に関わり、金融面で中小企業のサポートをして活性化。大きな希望が持てる日本に。

私は将来、金融の面から「中小企業・地域経済の発展」に貢献したいと思っています。日本の企業のほとんどが中小企業です。大企業に関しては、国が「つぶさないよう」に優遇措置をとっていますが、中小企業にはまだまだ、そういった措置や恩恵が届いていない状況で、それぞれ、金融機関がサポートする必要があると思うんです。中小企業の資本政策に関わり、投資とコンサルティングを行なう投資会社でキャピタリストとして仕事をするのが今の夢です。中小企業が活性化することによって日本全体がもっと元気になり、皆さんがより大きな希望をもちながら生活できるようになれば良いな、と思っています。ゼミでは応用経済学について学んでいますが、この授業は英語の授業で最初がついていくのが難しく、語学も猛勉強しています。

義塾は人との繋がりがタテにもヨコにも強いところが素晴らしいと思います。私は現在、特に就職活動に集中していますが、卒業生の愛塾精神や仲間意識の強さを感じることも多いです。塾内で接点がなくても「同じ慶應義塾の後輩だ

から」と特別気にかけてくださる先輩方が至る所にいらっしゃいます。また、企業の動向を友人から聞くこともよくあります。これはヨコの繋がりの強さですね。脈々と受け継がれてきた、同輩意識や愛塾精神を、私自身も後輩の世代へ繋げていきたいと思っています。維持会会員の皆様には、言葉にできないほど感謝しています。皆様のお陰で、学業や就職活動に専念することができます。維持会奨学生として誇りをもち、相応しい振る舞いを心がけています。





■ 愛知県出身 理工学部3年

Q 維持会奨学生として思うことは、どのようなことでしょうか？

維持会の皆様をはじめ、多くの人に支えられて義塾に通えているので、皆様の期待に応えられるよう、何事も全力でやらなければ！と思いながら日々過ごしています。

Q 今一番、全力を注いでいることは？

授業や実験です。私の学部では、機械系や電子系など、色々なジャンルの実験があるんです。中でも、システムデザイン工学実験という授業が特に興味深いのですが、扱っている範囲がとても広く、実験の内容も複雑で難しいです。

Q 具体的にはどんな内容ですか？

少し前にモーターの実験をしたのですが、とても興味深くて「実験中に起こった不思議な現象」の正体を探る…まるでクイズを解いていくようにレポートを書きました。図書館で調べられる限りのことを調べ、限られた時間でできるだけ多くのことを吸収したいと思って取り組んでいます。

Q その授業で得られることはどのようなことですか？

実験では高校のときに習っていたこと、今授業でやっている

こと全てが必要になりますし、理論的なことも実験に欠かせなかったりして、どんどん奥に向かっていくのですごくやりがいを感じています。いま得ているこの知識や技術を、将来は「総合的な視点で物事を解決する」ことに役立てたいですね。

Q 慶應義塾の良いところは？

歴史が古く、独自の文化を持っていること、維持会のように卒業生と学校との繋がりが強いこと、個性豊かな人が多く刺激を受けることができる環境があることなどが、義塾の素晴らしいところだと思います。

Q 将来の夢は？

私は大学院に進みたいので、帰宅してからもかなり長い時間、課題に取り組んでいます。研究室に入り、学会で有益な発表をすることによって、慶應義塾の名を広めることにも貢献したいと思っています。



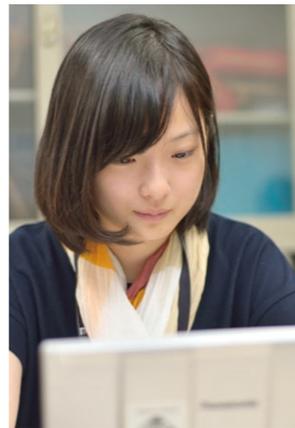
■ 佐賀県出身 総合政策学部4年

Q いちばん興味のある授業は？

私は現在、中国政治と教育経済学の2つのゼミに所属しています。中国政治のゼミでは院生と一緒に、中国と日本の問題に関してディスカッションします。両親は中国人ですが、私自身は日本で生まれ育ち、中国に関して知識が全くありませんでした。それで日中関係についてもっと深く知ろうと思って、今に至ります。教育経済学のゼミでは、中国の戸籍制度、学歴と戸籍の関係について研究しています。

Q 中国に留学されたそうですね？

私は2年生のとき、交換留学生として中国に滞在しました。さまざまな国からきた留学生と交流する中で危機感を覚えたのです。私を含めて日本人が相手にされない、という危機感です。日本について聞かれても中国語、英語はもちろん日本語でもき



ちんと答えられなかったり、自分の意見を主張できなかったり。こんな現状を変えたいな、という問題意識が芽生えて、まず自分自身を変えなければいけないと思いました。

Q 将来の夢は？

多国籍環境の中で、いち日本人として活躍し世界に貢献したいです。そのために海外の大学院への進学を考えています。英語を道具に勉学を通して自分のフィールドをもっと究めたいと思っています。

Q 奨学生として思うことは？

慶應義塾大学と先輩や同級生のおかげで視野が広がり、今の自分がいると言っても過言ではありません。このご恩を忘れず、勉学に励み、将来は次の世代を応援できる人になりたいと思っています。



奨学生採用実績

維持会奨学金

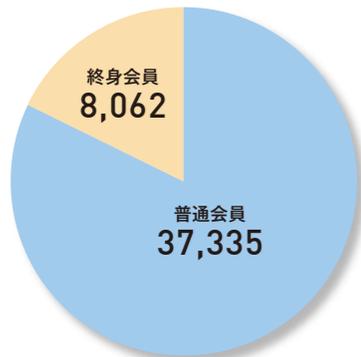
経済的理由により修学が困難な塾生に、学業に専念出来る環境を整えるため2007年に創設したのが「維持会奨学金」です。毎年、厳正な審査の下、人物、学業・成績ともに優れ、愛塾精神に富んだ塾生が採用されています。

※「維持会奨学金」は給付型で返済の必要はありません。

2015年度

文・経済・法・商・総合政策・環境情報学部 から 75名・各50万円
 医・理工・看護医療・薬学部 から 30名・各80万円

●維持会員の皆様が奨学生を支えてくださっています●



維持会員 45,397名

2015年8月1日現在



全国の
優秀な塾生が
採用されています

2007年度～2015年度まで
645名採用



懇話会 開催

7月9日(木)三田キャンパスに於いて、2015年度奨学生と維持会常任委員との懇話会を行いました。

「両親の負担が軽減しました」「大学進学を控えた弟(妹)がいるので、両親も私も安心しました」「アルバイトの時間を減らし学業に励むことができます」「海外の大学院進学を目指します」参加した15名の学生からは、学業に課外活動に積極的に取り組む姿勢が熱く語られました。



西室泰三維持会長からの挨拶。



奨学生からは維持会への感謝の言葉と、充実した学生生活が語られました。



維持会常任委員・塾長との懇談で、多に励まされた様子の奨学生。

2015
年度

維持会奨学生からの 感謝のメッセージ

(掲載内容は一部抜粋しております。)

心ゆくまで勉学に打ち込むことができました。

昨年度に引き続き、奨学金をいただくことができ、両親共々大変感謝しております。

昨年度は、慶應義塾維持会奨学金のおかげで、アルバイトに時間を割かれることなく、心ゆくまで勉学に打ち込むことができました。商学部の英語のプログラムに参加したり、英語で行われる授業を約30単位ほど履修したり、英語漬けの日々が続いておりました。留学経験もない中で、英語で授業を受けたり、自分の意見を発信したりすることは非常に大変でしたが、何よりもこれまで8年かけて学んできた英語を用いて、新たなことを学ぶことの喜びを味わえた1年だったと思います。また英語を用いることで、文化的背景が全く異なる人々と交友関係を深めることができ、自分の価値観や行動も変えることができました。加えて、厳しい環境に身を置き、忍耐強く努力できるようになったことも大きな収穫だったと思っております。

私は高校時代から、国際経済で活躍したいという夢がありました。そのため、経済的な不安を抱えることなく、このような経験を大学時代に積むことができ、非常に嬉しく思っています。慶應義塾維持会の皆様をはじめ、自分を支えてくれる多くの方々に対し、言葉では言い表すことができないほど感謝しております。

群馬県出身 商学部4年

文武において充実した学生生活を送っています。

あこがれの慶應義塾大学に入学を決めて以来、大学で学べる喜びと共に、学費が私の家庭の大きな負担になっていることへの不安を感じていました。その不安が、先日採用発表の日一気に拭い去られ、両親にも吉報を届けることができ、以前より明るい気持ちで大学生活を送ることができるようになりました。

私は體育會競走部に所属しており、夏には合宿が予定されていますが、奨学金のお蔭で参加の目的が立ち、自身の競技力を高められる嬉しさと、維持会様への感謝の気持ちでいっぱいです。

慶應義塾大学に入学し、この二ヶ月、塾生としての生活を送ってきましたが、新たな出会いや学びを得ることができ、毎日が楽しみでなりません。大学での講義は、興味を惹かれた講義を自らが選択し、抱いた疑問を自ら探究し続けるものです。知らぬ間に私自身の能動性が磨かれ、どの講義においても積極的に調べ、疑問を解き明かそうとする姿勢が身に付きました。また、競走部においても、全国から集まった高いレベルの選手と共に、日吉競技場で毎日のように練習に励んでいます。先日は自己ベストを更新することができ、文武において充実した学生生活を送ることができています。

私は、中国の歴史・文化に興味があり、来年度は東洋史学専攻に進むことを目指しています。より深く中国の歴史、文化を学び、日中の相互理解の道を開拓していきたいです。奨学生であることの責任を常に意識して右文尚武を実行し、他の模範となるべく活動していきます。

高知県出身 文学部1年

この素晴らしい環境に感謝して、努力していきます。

この度は慶應義塾維持会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。

大学生活も1年が過ぎ、第一志望であった慶應義塾大学で自分の興味のある学問を学ぶことができ充実した日々を送っています。

私は現在法学部法律学科で法律を学んでいて、将来は司法試験に合格し、検察官として働きたいと考えています。法律学は予想していたよりも難しいもので苦戦していますが、同じ志を持つ友人も周りに多くいて、良い刺激を受けながら学び続けられています。昨年同様今年も法律討論会へ参加しようと考えているため、主体的に学んでいきたいです。また、国際的な裁判所で働くことに興味があるため、昨年より引き続きフランス語のインテンシブコースを受講しています。国際的な機関で働くためには英語だけでは不十分なので、週4回の授業で実際に活用できるよう学んでいきたいです。より積極的に学問に打ち込める機会が多く、友人と刺激を与え合える環境に恵まれたため、金銭的に負担の少ない地元の大学へ進学するという選択を捨てても、慶應義塾大学に進学したことは本当に良かったと日々感じています。

今回いただいた奨学金やこの素晴らしい環境に感謝の気持ちを持って、慶應義塾維持会の奨学生の名に恥じないよう日々努力していきたいと思っております。そして、将来は慶應義塾大学の一員として社会に貢献できるようになりたいです。

北海道出身 法学部2年



一層勉学に励み、最後の学生生活を過ごします。

この度は慶應義塾維持会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。学生最後の年を思う存分勉学に励むことができることを、大変嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、母のがんがきっかけで、看護師の道を目指しました。今、本学で看護学を学んでいることがとても楽しく、誇りに思っております。私は、現在「『チャリティ』が広げるケアの可能性」をテーマに研究に取り組んでいます。3年次に行った海外研修でイギリスを訪れ、がん患者のための施設を見学し、とても興味を持ちました。その施設はチャリティによる運営で、利用者に対して無料でサービスを提供しています。日本にも患者には必要とされていますが、診療報酬では評価されないサービスがあり、それを提供していくにはどのようにすればいいかを、研究しています。その研究のために、再びイギリスへ渡航し調査しようと考えており、研究費用として奨学金を充てさせていただきたいと思っております。イギリスでの運営方法を参考に、日本での新たなケアやサービスの提供の可能性について考察し、将来は日本の新たなケアサービスを構築していき、より多くの患者さんのニーズに応えられるようになりたいと思っております。

今後、一層勉学に励み、塾生として恥じないよう気を引き締め、最後の学生生活を過ごしていきたいと思っております。そして、慶應義塾で学んだことを活かし、多くの患者さんを支えることができる、看護師になりたいと思っております。

神奈川県出身 看護医療学部4年

2014年度 慶應義塾維持会 収支決算

(単位:円)

収入の部	寄付金	182,626,339	
	維持会基金運用収入	65,418,630	
	(1) 収入の部合計	248,044,969	
支出の部	維持会事業費	奨学支援事業	56,600,000
		その他の財政支援事業	8,566,583
	管理経費	会員用三田評論諸経費	16,676,157
		事務経費	18,987,815
	(2) 支出の部合計	100,830,555	
収支差額(1)-(2)	147,214,414		
(3) 年度末維持会基金残高	3,590,300,255		

(1) 収入の部

新規入会479件、継続7,200件、計7,679件の寄付金と維持会基金運用収入により248,044,969円となりました。

(2) 支出の部

奨学支援事業: 「慶應義塾維持会奨学金」に56,600,000円を充当しました。

その他の支援事業: キャンパス施設整備資金・障がいのある学生への学業奨励金・「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金・アントレプレナー支援資金として計8,566,583円を助成しました。

管理経費: 会員への『三田評論』発送郵便料、維持会勧誘に伴う趣意書等作成費・DM発送郵便料等として計35,663,972円を支出しました。

(3) 維持会基金残高

収支差額を全額維持会基金に組み入れた結果、残高は3,590,300,255円となりました。昨今の経済状況において運用益が減少する場合でも、維持会事業が遂行できるよう財政基盤を強化します。

2015年度の維持会事業についてお知らせいたします。

維持会事業費予算 71,806,005円 (2014年度末維持会基金残高3,590,300,255円の運用益)

奨学支援事業「維持会奨学金」

61,500,000円

254名の応募があり、計105名の塾生に支給することが決定しました。

《2014年度実績》56,600,000円

261名の応募があり、97名の塾生に支給しました。

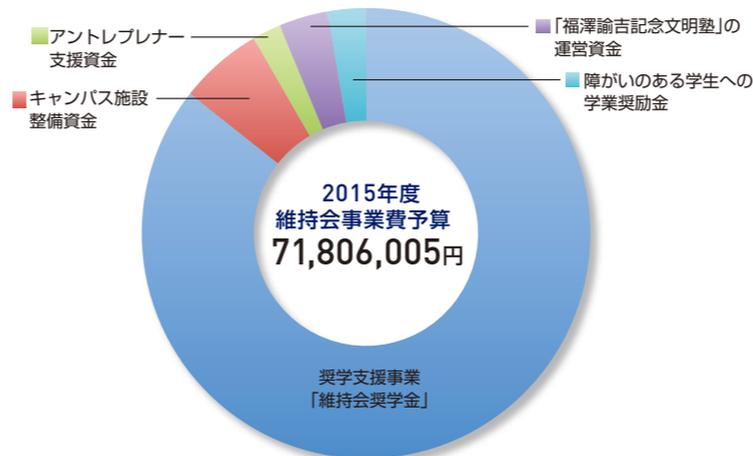


障がいのある学生への学業奨励金

1,500,000円

義塾では、障がいのある学生に対して、これまでに授業支援、塾生ボランティアによるサポート、施設の改善等の修学支援を実施してきました。また2013年度より、特に重度の障がいがあると認められた学生のうち、学習上特別な支出が必要となり経済的に学業に専念することが困難な者に対して、用途を学費充当とする学業奨励金にて支援を行なっています。維持会からこの事業に助成します。

《2014年度実績》500,000円



キャンパス施設整備資金

4,306,005円

塾生の教育・課外活動等における環境を一層充実させるための施設整備資金を助成します。

《2014年度実績》4,566,583円

大学キャンパス(三田・芝共立)、一貫教育校(志木高・女子高・中等部)のAEDの増設費(23台)を助成しました。



「福澤諭吉記念文明塾」の運営資金

2,500,000円

義塾の原点を見つめ未来貢献を志す先導者を育てるべく創立150年記念事業の一環として開講されました。これからの社会で求められるリーダーシップについて対話と議論を通じて考える場を、塾生、塾員に限らず学ぶ志のある全ての人に提供しています。また、「福澤諭吉記念文明塾」での成果を発信することにより、学ぶことの楽しさを社会全体に広める取り組みを行っています。維持会からこの資金を助成します。

《2014年度実績》2,500,000円

アントレプレナー支援資金

2,000,000円

義塾の学術的研究活動によって生み出された研究成果の社会的活用を目的に、義塾の知的財産権の実用化に際して設立されるベンチャー企業1社につき最大100万円の出資を行います。

《2014年度実績》1,000,000円



維持会の活動をさまざまなメディアでご紹介しています。ぜひご覧ください。



Facebook



いいね!

よろしくお願いします。



維持会Webサイトでは、
「維持会紹介ビデオ」
「奨学生インタビュービデオ」
を配信しています。
また、奨学生全員の
『感謝のメッセージ』も
掲載しています。

慶應義塾維持会

検索

▼ 維持会紹介ビデオ



▼ 奨学生インタビュービデオ



慶應義塾維持会

News Letter No.8

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL.03-5427-1545 FAX.03-5427-1546

E-mail:kikin-box@adst.keio.ac.jp
http://www.kikin.keio.ac.jp/ijikai/

発行日 2015年9月25日
発行 慶應義塾基金室 維持会担当

●ご意見・ご感想をお寄せください。